

これから元気で楽しい人生を

平成22年度

藤里町敬老式

式典では、米寿代表川村リエさん（湯の沢）、傘寿代表佐々木文雄さん（巻端家）、初敬老代表佐藤アヤさん（一の渡）へ、石岡町長より記念品が手渡されました。米寿の方々にはステッキ、傘寿と初敬老の方々、75歳以上の方々には敬老祝商品券（2,000円）がそれぞれ贈られました。



お礼のことは

5月7日、町民体育館において、平成22年度藤里町敬老式が挙行され、各地区から440名余が式典に出席しました。

今年めでたく敬老式を迎えられた方々は1,220名で、今年度初めて敬老を迎えられた方々（昭和14年4月2日から昭和15年4月1日までに生まれた方）が63名、教えて80歳の「傘寿」（昭和6年生まれ）が79名、88歳の「米寿」（大正12年生まれ）が31名となっています。

その後、石岡町長から「敬老者の皆さんには健康の維持増進に心がけ、各種活動にも積極的に参加を頂いておりますが、現在、当町の平均寿命は日本人の平均寿命を下回っており、まだまだ長寿のための努力が必要と再認識しているところです。厚生労働省の健康維持キヤッチアップに、『一に運動』『二に食事』『三に禁煙』とありますが、常にこのことを心掛け、日本の平均寿命の仲間入りをし、楽しい人生を送られるよう切望します。町では、都市との交流を一層推進するため、農業や林業も含めた体験型観光に力を入れ、今年度は、清水谷に炭焼き小屋を作り、訪れた人に体験してもらうなど、新しい事業を展開しながら町の活性化を図っていきたく考えています。そのためには、長い人生で培われた経験や知識を有する皆さんのお力をお借りしたいと思っておりますので、ご協力をお願いします」と式辞が述べられ、続いて船木和雄山本福祉事務所長、藤原幸美町議会議長両来賓からそれぞれ祝辞が送られると、敬老者を代表して石岡勝信さん（下モ町）からは「私たちはこれからも、先人たちが築きあげてきたこの郷土がますます発展ある事を信じて、長年培ってき

た豊かな経験と知恵を出し合い、健康に留意しながら、藤里町発展のために尽力して参りたい」とお礼の言葉が述べられました。

引き続き催された祝宴には各地区の婦人会や園児らが、この日に向けて練習した踊りや演奏を披露。会場からは大きな拍手が送られていました。

米寿該当者

- ・菊池 フ サ (大正12年生まれ 矢坂上町)
- ・菊池 チ ヌ (矢坂下町)
- ・菊池 豊 吉 (矢坂下町)
- ・水戸 リ サ (虹の里)
- ・菊池 ミ ヨ (薄井沢)
- ・市川 正 一 郎 (薄井沢)
- ・廣 澤 千 代 (粕毛下町)
- ・佐々木 純 一 (室袋)
- ・佐々木 ミ ホ (室袋)
- ・加藤 シツエ (下根城)
- ・加藤 サダエ (熊の袋)
- ・加藤 キヨノ (巻端家)
- ・小 森 謙 二 (清水岱)
- ・淡 路 チ セ (館の下)
- ・藤 本 勝 雄 (館の下)
- ・淡 路 チ ヨ エ (下モ町)
- ・伊 藤 ハ ナ (鳥谷場)
- ・荒 川 三 代 (川原町)
- ・田 中 ス ミ (川原町)
- ・菊 地 きぬゑ (大町)
- ・櫻 田 善 治 (大町)

- ・齋 藤 共五郎 (大町)
 - ・櫻 田 カチ (大町)
 - ・中 嶋 キヌ (大町)
 - ・藤 嶋 ミユ (川反町)
 - ・石 田 キクエ (愛宕第一)
 - ・村 岡 龍 子 (愛宕第二)
 - ・村 岡 豊 吉 (寺沢)
 - ・三 谷 勝 三 (出戸小比内)
 - ・川 村 春 蔵 (寺屋布)
 - ・川 村 リ エ (湯の沢)
- (敬称略)



元氣な笑顔がたくさん



いつまでもげんきでいてください